

し ぶ し 志布志



市議会だより

No.30 2013.8.12発行



6月
定例会

やっちくふるさと村指定管理者決定	2
一般会計補正予算	3
志布志保育園を移転・建て替え	6
7議員がっっぱん質問	9



平成25年6月定例会を6月14日から28日までの15日間開きました。
平成24年度予算最終補正の専決処分承認や、志布志保育園の建て替え、尾野見分団消防詰所の施設建設などを盛り込んだ、25年度一般会計の補正予算や「やっちくふるさと村」の指定管理者を新たに指定するなど、議案9件を審査しました。
一般会計補正予算は、原案可決となり、他の議案及び発議1件は原案どおり可決し、一政府の平成25年度地方財政対策に関する意見書を国に提出しました。
一般質問は7名の議員が保健福祉、教育行政、観光行政、環境政策などについていただきました。

やっちくふるさと村指定管理者決定

やっちくふるさと村の
指定管理者を新たに指定

施設の名称

やっちくふるさと村

指定管理者

(有)フオックスカンパニー

指定期間

平成25年7月1日～
平成28年3月31日

本会議での質疑応答

Q やっちくふるさと村を市の施設としてどのように位置付けているのか。また、都立志布志間の高規格道路が全線開通した場合、交通量の減少が懸念されるが相手方とどのようなやり取りがあったのか。



8月3日にグランドオープンする道の駅松山

A 旧松山町で地域づくりの拠点として作られた施設である。集客力が減少している状況も十分認識されており、そのことを受けてこの施設がさらに発展するような経営を目指し応募されている。

Q 道の駅が衰退していった一番の要因は交通量の減少である敷地も広く道の駅を最大限に活用できるように協議をしているのか。

A まずは、早い段階で開店し客離れを止めたい。年度内にはバイクの提供、その後、宴会や宿泊業務を展開される計画である。

(全会一致で可決)

議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続議員として8名が表彰され、6月定例会で、表彰状の伝達が行われました。

15年以上

鬼塚 弘文 議員
上村 環 議員

10年以上

立平 利男 議員
本田 孝志 議員
立山 静幸 議員
長岡 耕二 議員
金子 光博 議員
林 勇作 議員

※表彰規定により町議の年数は1/2で換算



一般会計

6月補正予算

3億846万9千円を追加

予算総額は190億7846万9千円に



JR志布志駅舎取得へ

各委員会での質疑応答は5ページから

一般会計は、平成24年度一般会計補正予算(4171万7千円を追加し、191億8464万円)を承認し、尾野見分団詰所新築やJR志布志駅の乗務員宿泊施設等部分購入、安心こども基金総合対策事業を活用し志布志保育園の建て替え工事に伴う経費を計上した1号補正を全会一致で可決しました。

本会議での質疑応答

Q 子牛価格以外は非常に厳しい農業生産状況である。県内の一番茶が対前年度比16%減、売上で7億5000万円程の減収になる。今回、利子補給がされるが、今後の根本的な支援策をどのように考えているか。
A 現段階では、経営に与える影響が総括されていない中で緊急的に取り組んでいる。PPP等の行方を見定めて長期的な農業展開を考えていく。

一般会計補正予算の主な事業

- 尾野見分団拠点施設建設事業 …… 2035万円
老朽化している消防団詰所を新築し、非常時の確実な出動及び消火体制の充実を図る
- 旧八野小学校校舎及び屋内運動場耐震補強事業 …… 350万円
旧八野小学校の跡地利用に伴い、校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を実施する
- JR志布志駅乗務員宿泊施設等移転補償事業 …… 2130万円
観光客の玄関口として計画的に整備しているJR志布志駅の乗務員宿泊施設等部分を購入し、志布志を訪れる観光客を迎える施設にふさわしい「おもてなしの玄関口」として整備する
- 保育所緊急整備事業 …… 1億3346万円
志布志保育園の建替事業に要する費用の一部を助成し、子どもを安心して育てられる環境を整備する
- 保育士等処遇改善臨時特例事業 …… 3348万円
保育士の人材確保を推進するため、保育士の処遇改善に取り組む私立保育所に費用の一部を助成する
- 市単独土地改良事業 …… 2260万円
「地域の元気臨時交付金」を活用し、農道舗装をすることで、地域経済の活性化と農業の基盤強化を図る
- 林道舗装事業(八野線) …… 2500万円
「農山漁村地域整備交付金」を活用し、林道八野線の舗装整備を実施することで林道の機能向上を図る
- 県単急傾斜地崩壊対策事業 …… 1760万円
急傾斜地崩壊危険箇所の防災工事を実施し、土砂災害を防止する

Q 志布志駅舎を「おもてなしの玄関口」として整備する計画であるが、現在「おもてなし」が実行されているのか。立派な駅舎に改修されても「おもてなしの心」がなければ目的が達成されないのではないか。
A 観光案内所、港湾品協会が事業として取り組んでいる。港湾通りではお茶の振舞いをしているが、駅舎では対応できていないため指示していく。

Q JR志布志駅の宿泊施設移転後の活用は。
A 今年度中に「志の歓交推進協議会」で来年度以降に整備する具体的な構想を検討する。観光特産品協会等の事務局も兼ねる施設で、お茶等の振舞いができる駅カフェ、総合的に案内できる駅舎にしたいと考えている。

Q 保育士等処遇改善臨時特例事業は単年度事業なのか、また、公立保育園で働いている方への対応等執行の在り方についてどのような議論をしたのか。
A 保育士の人材確保対策を推進する事業で、25年度のみ実施する。賃金を改善する方策で、試算では8500円ほど給与が上がることになる。公立保育園については現在のところ対象ではないが、もう少し詳しく調査をし、処遇を定めたい。

条例

志布志市一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、一般職の職員の給与の減額措置を講じるため、その期間、率等を定める必要がある。

本会議での質疑応答

委員会での質疑応答は5頁

Q 国は、何のために臨時特別措置に関する法律を制定したのか。

A 日本再生のため防災減災事業に積極的に取り組み、消費税についても国民の理解を得るため、地方公務員が先頭に立ち、国家公務員に準じて給与を削減するよう国から要請があった。

Q 特別職、農業委員や嘱託職員等への対応は。

A 特別職については、平成21年度から10%削減を実施しているため、今回は削減しない。また、行政

委員会関連や嘱託職員も削減の対象外である。

反対討論
○地方交付税を最初から引き下げ、法律違反を求める国のやり方は間違っている。地方自治体は防波堤になるべきである。
小園議員



起立採決による賛成多数で**可決**

意見書

政府の平成25年度地方財政対策に関する意見書

(要旨)
政府の平成25年度地方財政対策において、地方交付税をめぐっては、平成25年7月からは、平成25年7月からの国家公務員と同様の7.8%の給与削減を実施することを前提として、地方公務員給与と費を8504億円の削減し、防災・減災事業や地域の活性化等の緊急課題への対応するため、給与削減に見合った特別枠を設けることとする。

計上している。この地方財政対策の決定にあたっては、地方自治体の給与削減や定員の大規模削減、議員定数や歳費の削減など懸念の努力を要している。地方自治に関する本質的な問題が内在しているなどとして、地方財政対策において、地方が強く訴えてきた一般財源総額の確保に向けての努力、工夫については受け止めるものであるが、地方公務員給与の取り扱いは、極めて遺憾であるといわざるを得ない。

今回の国家公務員給与削減は、我が国の厳しい財政状況及び東日本大震災に対する一層の歳出削減が不可欠であることから、行方とされている。一方、地方公務員の給与は、公平・中立な見方を踏まえつつ、議会や住民の意思に基づき、地方が自主的に決定すべきものであり、国が地方公務員の給与削減を強制することについては、地方自治の根幹に関わる問題である。また、地方交付税を

政府の政策目的を達成するための手段として用いることは、地方の固有財源という性格を否定するものである。よって、①地方の固有財源である地方交付税を、国の政策目的を達成するための手段として用いることなく、地方の意思を重視すること。

②本来、地方公務員の給与は、個々の自治体が地方公務員法の趣旨を踏まえ、条例に基づき自主的に決定されるものであり、その自主性を侵すことのないようにすること、これを強く要望する。



内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。

陳情

「協働労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書
志布志市議会議員定数削減を求める陳情書の2件は継続審査となりました。



本会議を傍聴される有明地区民生委員・児童委員のみなさん



副市長の選任に同意

3月末をもって退職された清藤修氏の後任として、市長から外山文弘氏(57歳)が副市長に選任され、無記名投票の結果賛成19、反対3で同意しました。

外山氏は旧志布志町役場に採用され、農政課、総務課、企画財政課などを経て行政改革推進課長、港湾商工課長、税務課長、市民環境課長等さまざまな分野を経験されています。



監査委員の選任に同意

4月1日付けで退職された重留慧(さとし)氏の後任として、市長から監査委員に嶋戸貞治氏(63歳)が選任され同意しました。

嶋戸氏は旧志布志町役場に採用され、企画課、教育委員会、総務課、企画財政課などを経て税務課長、市民部長等さまざまな分野を経験されています。

受け入れた行政視察

5月13日(月)
枕崎市議会
・国民健康保険について
7月3日(水)
熊本県八代市議会
・健康づくり事業
・ふるさとづくり委員会

尾野見消防分団詰所を新築

総務委員会

志布志市税条例の一部を改正

今回の改正は、地方税法の一部改正に伴い、寄付金税額控除の特例控除の措置、延滞金の割合の見直し、市民税の住宅借入金等特別税額控除の延長及び拡大などの改正が行われたため改正するものである。

Q 改正によって税収がどのように増減するのか試算をしているのか。

A 本市に対する直接的な影響として、延滞金の利率が14.6%から9.3%に引き下げられるため延滞金収入が少なくなる。

一般会計補正予算

(財務課)

Q 旧八野小学校舎は耐震補強後、使用できる年数等をどのように想定しているのか。

A 校舎は昭和48年、屋内運動場は昭和54年に竣工している。今回、廊下側、教室側、はり部分の教室、調理室の壁側の4ヶ所を耐震補強する。屋内運動場は、外側の4ヶ所について腐食部分を交換、

接合部分の改善を図る。これにより耐震補強部の工事が終わるが、今後も若草会と協議をしながら維持補修の管理をしていきたい。



旧八野小学校での現地調査

(総務課)

Q 今後、災害が起こる可能性が高いことや、避難所的な役割を担っていくような施設を考えた場合、新築する尾野見分団詰所は備蓄等ができるものを考えていかなければならないのではないかと。

A 尾野見分団前の尾野見小学校が避難所に指定されている。また、尾野見地区の条例公民館も避難所として十分機能を果たすと考えている。

(企画政策課)

Q 「夏井海岸の火砕流堆積物」は国の天然記念物に指定され、市内にも広報されているが、市民に伝わっているのか。また、市内外からの問い合わせ・団体の見学申し入れ状況は。

A 指定されてから電話で問合せが数件あった。案内もしているが、団体での研修申し入れはない。周知については、埋蔵文化財センター等で地図の配布、ケーブルテレビでの告知放送をしている。また、平成24年度には「街歩きウォーキング」を開催し、宝満寺から火砕流の現地までの見学会を実施した。看板を設置することで、これまで以上に周知が図れるものと考えている。

(港湾商工課)

Q 志布志まちづくり公社への補助金800万円は、補正で対応しなければならぬのか。

A まちづくり公社の償還金については、行政が補てんするのではなく、まちづくり公社が努力し、返済してもらうのが基本

である。可能な限り、償還金の全額確保に努力するよう要請していたが、不足額が生じるため補正をおこなった。

Q 将来的にJR志布志駅舎を購入し、案内所だけではなく、特産品販売や簡易なカフェなどを考えているということだが、JRは日南線を路線廃止する計画はないのか。

A 志布志駅の乗降客は主に通学生で、1日30人から50人である。採算はどうかと思うが、JRとしても公共交通として認識され、日南・志布志線は今後もさらに充実させていくと聞いている。路線廃止の話は聞いてはいない。

陳情

政府の地方財政対策に関する意見書の提出について

執行部からの意見として、今回の給与の削減等に対して、政府は、国の政策目的実現のため、地方交付税を一方的に削減し

て給与を下げるかたちがとられた。市においても地方自治体の給与の在り方、地方交付税の在り方等、国の方針については非常に疑問をもっている。方向性としては市も陳情書と同一の考え方をもちたい。

Q 給与は地方自治体が自主的に定めるものである。一括交付金の中でのやりくりであれば問題ないと思うが、市長と議論をしたのか。

A 国の要請に対しては、地方の自主権を侵害しているのではないかと考えている。現実的に地方交付税の中から職員人件費相当分がカットされ、新たな事業が交付税に盛り込まれ、差し引き約5000万円が減額されることである。地方交付税が減るとなれば市民に迷惑がかかるため、今回、やむなく減額に踏み切った。

(意見書は4頁)

採択

志布志保育園を移転・建て替え

文教厚生委員会

一般会計補正予算

(生涯学習課)

Q 温水プール改修の財源について、スポーツ振興くじ助成金が採択とならず、合併特例債を充当したいとのことだが、採択、不採択が不明の時点で、予算計上すべきか。また、不採択となった時点で、改修の緊急性も含めて協議したのか。

A スポーツ振興くじ助成金の配分額は減少し、申請件数は増加し、採択が厳しい状況になってきた。また、採択のために予算にも計上した。不採択の結果を受け、財務課お

(福祉課)

Q 志布志保育園の移転・建て替えについて、移転の理由および複数の保育所の中から決定に至った理由はなにか。

A 東北の震災以降、保護者から移転の要望があった。防災面を考慮し高台に土地を求め、移転することにした。また、築34年が経過していること、防災上の安全確保等の理由により決定した。

よび市長と協議し、緊急を要することを伝え、今回の財源組換えとなった。



改修される
志布志運動公園屋内温水プール

Q 民間保育園の保育士と比較すると、公立の保

育士の報酬は低い。公立保育士も同じく処遇改善すべきではないか。

A 今回の提案にあたり、一般職は一律5.1%の減額をお願いし、嘱託職員は非該当とした。また、現状で公立の保育士は確保できているので、特例措置に基づく対応は見送ることとした。長期的には勤労者の賃金上がる方向を目指すべき。市全体の振興を図り、市民の所得が上がるよう努力しその後、市の嘱託・臨時職員の最低賃金についても考えていきたい。

(保健課)

Q 曾於地域医療確保対策協議会負担金が予算化されているが、病院の機能充実や医師確保、および病院の位置等も含めこの協議会で検討するのか。

A 医師会立病院の診療科目充実、医師確保等協議される。病院の位置については、都城市郡医師会立病院の移転や道路網の整備、有明病院の防災上の問題等、考慮しながら議論することになる。

介護保険特別会計 補正予算

Q 代替看護師の賃金は6600円で計上しているが、この金額で有資格者の応募があるのか。

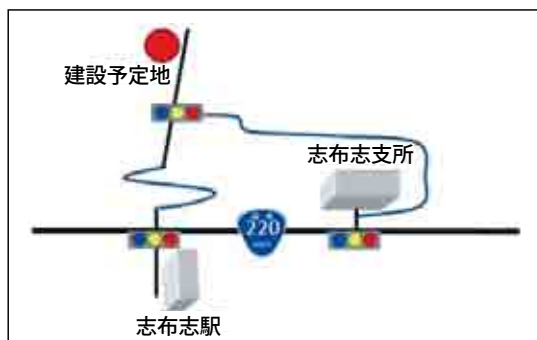
A 看護師については確保が厳しい状況で、知人縁故を頼り、お願いしている状況だ。産休代替で期限付きということもハードルを高くしている要因である。



現在の志布志保育園



移転・建て替え予定地



お茶の強風被害に 補給事業を採択

農業振興資金 農子

産業建設委員会



県単急傾斜崩壊対策事業(山ノ神地区)施工前

土地改良事業の 施行について

Q 和田地区(旧松山町尾野見)は、受益面積1.1haに対し、対象者が24人ということ、受益面積に対し人数が多いが、どのような区画になっているのか。

A 対象者24人とは、現段階で相続関連の権利者を含んでおり、実質的な地権者は少数である。

一般会計補正予算

(建設課)

Q 県単急傾斜崩壊対策事業の山ノ神地区(旧志布志町)は、大変危険な箇所であるが、早期完成は望めないのか。

A 採択要件の中に、単年度事業費の限度額が1500万円という要件があり、その1500万円を全体の事業費で割ると3年にかかる。

Q 危険廃屋解体撤去事業は、補正予算の予定があるのか。

A 現在42件実施中で、当初予算1200万円に対し、約1180万円の執行予定であるため、要望件数を勘案しながら、必要であれば考えていきたい。

(耕地林務水産課)

Q 農業・農村活性化推進施設等整備事業の委託料410万円と市単独土地改良事業の委託料60万円の金額の差は何か。

A 前者は2地区の測量設計業務委託であり、後者は設計CBRR試験委託であるため金額に差がある。

Q 林道八野線の舗装工事は、6年間の継続事業ということであるが、委託料は6年間で1000万円なのか。

A 来年度の予算要求をする時に、事前に全路線分を測量設計する必要があるが、未舗装である約4000mの全区間を測量設計するための委託料である。

(農政課)

Q 今年産のお茶は、強風により被害を受けたということであるが、今年の相場はどうだったのか。また、来年度からの見通しをどのように予測しているか。

A 今年産は、量が減り単価が安かったため、対前年比でいくと、総体の生産金額で75%程度の見込みを立てている。今後の見通しは、原発の影響等もあり、どのように推移していくか、予想することには苦慮している。



降灰洗浄機

Q 降灰地域野菜安定対策事業は受益者戸数が1戸だが、採択要件はどのようなになっているのか。

A 従来の補助事業では、受益農家3戸以上が採択要件である。法人については別途要件があり、農業生産法人を取得しているという条件と、3名以上の常勤の雇用があれば、採択要件に入る。

※CBRR試験

地盤試験の一つ。路床土支持力比を求めるもの。



合志市議会での調査の様子

○議会運営委員会とは、議会の運営に関する事項の調査研究のため①議会改革の取り組み②政務活動費③会派について所掌事務調査を行いました。

○視察先・熊本県合志市
平成22年4月自治基本条例を策定し、議会の役割と責務について規定している。具体的な改革について議会活性化特別委員会を設置し報酬、定数および報告会等について小委員会に割り振り協議を継続している。政務活動費や会派についても、議員全員にアンケート調査を行い、その必要

性について認識し、実施時期を協議する段階にきている。

○視察先・熊本県御船町
合併協議に参加しながら、町民投票で単独の道を選択した自治体であり様々な議会改革を実践していた。通年議会を平成22年度から実施し、22年度13回、23年度15回開催している。それに伴い常任委員会や広報特別委員会も毎月開催している。議会報も毎月発行し、町内を10地区に分け、議員全員で分担し報告会は4日間開催している。議会基本条例に基づき、議会モニター7名を委嘱し本会議、各委員会、全員協議会を傍聴し、提言書の提出を求めている。提言書は全議員に配布し、全員協議会で協議している。議会運営や議員及び議会活動の資質向上のために、新潟県立大学准教授に議会アドバイザーを依頼し、様々な課題について助言をもらっている。

まとめとついで、

①議会改革の根幹は議会基本条例である。御船町は議会基本条例、合志市は自治基本条例に基づき積極的に議会改革を実践していた。本市も現在、議会基本条例について特別委員会審議中である。議会改革については効率、非効率や、本市の財政状況等十分考慮し進めていきたい。

②今回調査した議会では、政務活動費は支給していなかった。しかし、必要性についてはほとんどの議員が感じている。政務活動と従来の事務調査では、政策提案につながるかどうかで大きく異なる。従来予算の範囲内で透明性を持った活動費を早期制度化することで市民生活に還元していくことが重要であると考えられる。

③会派制は、議会活動の充実や議会運営に必要な制度である。早期導入に向け努力したい。

請願・陳情の提出について

市などへ意見や要望があるときは、だれでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

- **請 願**
憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為です。請願書の提出は、本市議会議員の紹介が必要です。
- **陳 情**
陳情書の場合は、本市議会議員の紹介は必要ありません。
- ◇ **記載する事項**
請願書（陳情書）の様式は任意ですが、日本語を使用して、つぎの事項を記載してください。
・ 請願（陳情）の趣旨 ・ 提出年月日 ・ 請願（陳情）者の住所、氏名、押印
※住所、氏名は一般に公開されますので、あらかじめご了承ください。
- ◇ **提出について**
受け付けは常時行っていますが、**定例会前の議会運営委員会前日までに**受け付けたものが、その定例会会期中に審査されます。それ以降に受け付けたものは、次回以降の定例会で審査することになります。

請願（陳情）書様式例

請願（陳情）書		平成 年 月 日
志布志市議会 議長 ○○○○ 様		請願者（陳情者）住所 ○○○○○○○○○○ 氏名 ○○○○ 印 紹介議員 ○○○○（署名または押印） ※陳情の場合は不要
（件名） ○○○○について		
請願（陳情）要旨 ○○○○	
請願（陳情）事項 ○○○○	



小野 議員

市政運営の総括と次期市長選について

▶ 3期目の市政運営に挑戦したい

小野広嗣議員 合併後、初の市長として本田市が誕生し、すでに2期目の最終年度を迎えている。これまでの市政運営の総括として、公約等の達成状況と次期市長選挙に対する出馬の思いを示せ。

市長 市民のための市民の目線に立った行政という信条の下、志のあふれるまちづくりを基本理念として、共生・協働・自立の社会づくりに取り組んできた。行政と市民が一体となり取り組んできた成果が着実に積み上がり、誰もがこのまちに住んでよかったと思えるま

ちづくりが実現しつつあると思う。絶え間のない政策の推進が今は特に必要と考え、将来の輝ける志布志市を実現するために3期目の市政運営にも引き続き挑戦したい。

買い物弱者対策を図れ

問 食料品や日用品の買い物に不自由をする買い物弱者の方々は、年々増えている。現在では、創意と工夫で問題解決に取り組んでいる自治体も多い。ますます高齢化率が高くなる今、早目に何らかの有効な手だてを考えて

いかなければならない。以前にも質問しているが、その後どのような検討、取り組みをしたのか。

官民一体で取り組む

市長 大型店舗やコンビニエンスストアの店舗が増える一方、地域商店の衰退やタイヨ一の撤退など、周辺地域の方々の日常生活に大きな影響を及ぼしている。今後は、買い物支援・公共交通対策の両面から官民一体となって取り組む。

男性介護者対策を図れ

問 国民生活基礎調査によると、男性介護者が3割を超えており、今後、高齢化の進行とともに、さらに急増すると予測されている。要介護者への充実した介護ができるように早急に男性介護者特有の問題点を把握し、その支援体制の構築が望まれる。本市の支援体制はどうなっているのか。

相談支援を充実する

市長 男性介護者には、家事や介護に慣れない、介護等の悩みの相談が苦手な傾向やストレスのほけ口を持っていないという共通のものがある。今後、いろいろなネットワークを通じて男性介護者の状況把握や情報収集に努め、相談支援を充実したい。

小型家電分別の充実を

問 昨年8月に「使用済み小型電子機器等再資源化促進法」が成立し、不要となった携帯電話、デジタルカメラなどからのレアメタルや貴金属の回収が大きくなる整備が整った4月から、資源ごみ「小型家電」の分別収集がスタートしているが、今後、さらなる循環型社会の構築に向けてこの新制度をどのように活用していくのか。

周知を図り回収する

市長 小型家電に含まれる貴金属や希少金属を再利用するため、資

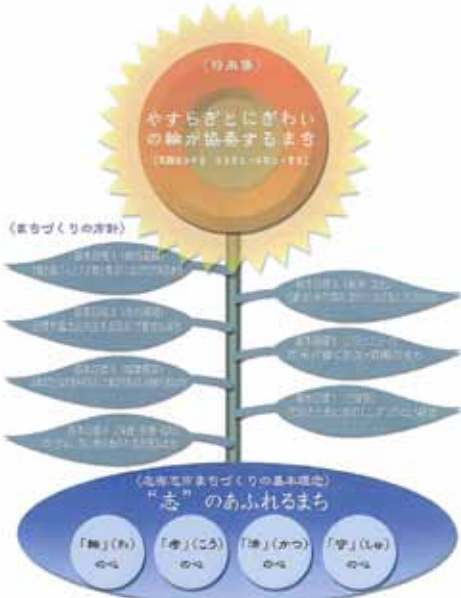
源の少ない我が国にとって、目指す循環型社会の形成を促進するものとして重要なことと認識している。さらに市民にわかりやすい方策を駆使し、使用済み小型家電の分別収集について周知して回収に取り組む。

子育て関連3法に対する取り組みは

問 昨年の通常国会で子ども・子育て関連3法が成立した。この法律は、保育所、幼稚園、認定こども園の拡充など、子育て環境の充実を図ることを目的としている。具体的な制度の運用は、それぞれの自治体、特に、市町村が重要な役割を担うことになっている。取り組みを示せ。

調査を行う

市長 9月定例会で子育て会議の設置条例を提案したい。平成25年度の後半に子ども子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査を実施していきたい。



やすらぎとにぎわいの輪が協奏するまち



西江園議員

地域情報通信 基盤整備事業 裁判の状況は

▼裁判に影響があるので答弁は控えたい

西江園 明議員 市側から、一方的に契約解除をしたことにより、東京のコンサルタント会社から損害賠償を請求され、現在裁判中である。現在の状況を問う。

平成22年度から
約175万円

市長 現在まで弁護士に支払った分として、着手金、裁判出廷謝金、書面作成手数料、旅費などに約175万円である。裁判のための職員の出張旅費等は含んでいない。

市単独100万円以内の補助事業ができるのか

問 裁判にかかる経費は、すべて市の単独費である。即ち市民の納めた税金が使われている。もし市のお金が100万円あったらどのくらいの規模の補助事業ができるのか。

2500万円の
事業ができる

財務課長 例えば林道

の舗装の場合、市の単独費100万円を使い、残りを補助と起債を充当すれば、2500万円の事業ができる。

アピア下の幼児用公園は夏熱くて利用できないが

問 大浜緑地公園のアピアと警察署の間にある公園の遊具は、夏場は熱くて利用できない。子育てで日本一を目指す当市であれば、他の公園で見受けられるように日陰等で利用しやすい形にすべきではないか。

日陰等の覆いまでは考えていない

市長 市内には遊具の設置してある公園が15ヶ所ある。アピア下の公園は夏場直射日光によつて遊具が熱くなっていることは認識しているが、遊具に日陰等



夏場熱くて利用できない遊具

の覆いをするまで考えていない。

台地に避難所を兼ねた公園の整備を

問 東北大地震後、旧志布志町の台地は急速に住宅化が進んでいる。東北では仮設住宅を建てるにも土地がなく問題になった。志布志市は、南海トラフ地震な

ど津波災害が予想される地域である。また、この台地には人口は増えているが公園がない。津波災害に備え仮設住宅予定地を兼ねて公園として整備する考えはないか。

仮設住宅の設置は
考えていない

市長 想定では津波に

よる被害世帯は7000世帯である。避難所については定めているが仮設住宅の設置は考えていない。

なぜ補助団体の役員選出に役所が関与したのか

問 補助団体である地域女性連絡協議会の役員選出に、規約を無視してまで、なぜ役所が役員選出に関与したのか。

役員が決まらず
相談を受けた

教育長 総会直前まで役員が決まっていなかったと相談を受けた。

生涯学習課長 役員選出は規約に基づき総会で決定されるものと思うが、口頭による申し合わせ事項が承認されたので規約を逸脱しているとは理解していない。



平野 議員

地域の声を集約した計画策定を

▶福祉需要に対応できるものをつくりあげる



有明・通山地区での住民座談会

平野 栄作 議員 社会福祉法第107条に基づき市町村は地域福祉計画策定が義務付けられた。社会福祉協議会においては、福祉活動計画策定が必要であり、計画策定に共通する項目を共同で実施していくために、昨年から交流人事を通して作業を進めている。進捗状況を示せ。

市長 市民や地域の関係機関・団体との共同により計画を推進し、思いやりを持って、ともに支え合うまちづく

りを目指し、社会福祉協議会と連携して取り組んでいる。24年度にアンケート調査によりニーズの把握や分析を実施。本年度6月中旬から市内11ヶ所で住民座談会を各3回開催し地域の課題に対する方策案の地区活動計画を策定。他の福祉計画との連携を図り、平成26年3月までに策定する。

問 従来展開されている福祉の総括的な位置づけとなる計画である。福祉に携わる個人及び団体の活動の原点とな

るような計画策定が望まれる。どう考えているか。

更に指導しよう

市長 福祉を支えている方々は、ボランティア精神旺盛な方々で頭の下がる思いがする。計画策定にあたり関係機関の方々も含め、十分意識が高まるような計画書づくりを担当も考えている。そのような形で事業推進を図っていくようさらに指導しよう。

学校施設における環境整備の認識と改善は

問 少子化に伴い学校の環境整備に係る保護者及び職員の負担が増加してきている現状がある。

親子のふれあい、自然保護、環境教育、勤労の育成といった面での効果はあるが、子ども達を取り巻く環境は情報が多様化など大きな勢いで変革をしてきている。これらの改善策に時間を費やすことも

必要ではないか。

負担が増えないように努める

教育長 子ども達と一緒に becoming 作業することで、希薄となった地域と学校の連帯感の再構築にあらゆる面から教育的な効果があると考える。学校の職員も自発的に管理に加わっている。今後も関係課とも相談し保護者の負担が増えないように努力し環境整備に努める。



原田小学校での奉仕作業

移住促進事業は

問 新規事業として移住促進事業を創設したが①4月から5月末までの問い合わせ状況を示せ。
②ホームページ上での

広報の改善が必要では。
③地元出身者以外の方に対して、空き家や空き地に関する情報提供は万全か。

実効性のあるものにする

市長 ①8件程度である。5月に東京で開催された鹿児島暮らし交流セミナーでは7件の問い合わせ中、2件が移住意向である。問い合わせ内容は、建築中やこれらの新築予定の親族からのものである。②見づらいつ感じしていたので一部改善した。より良いものを目指して今後も協議していく。③宅地建物取引業協会の協力や空き家・空き地バンクの活用を図る。特に業界の協力をいただき実効性のあるものにしていきたい。

企画政策課長 地区の自治会長や校区公民館の役員・ふるさとづくり委員会が活動している方々からも情報をもらい土地などの紹介を今後していきたい。



東議員

「ポイ捨て条例」看板設置で周知を図れ

▼設置を検討する

回初めて整備区間に指定された。今後、かなりの期間が必要と考える。

枇榔島栈橋の修復はできないか

問 枇榔島の栈橋について、長期的に考えていると何回も答弁されているが、浮き栈橋も無理なのか。

浮き栈橋は調査をする

市長 栈橋の整備は優先度が低いため補助事業の活用を考えている。浮き栈橋については今後調査をする。

が、東日本大震災、T・P等の影響で見直しがされている。民間企業との連携が打ち出され、民間企業が全面的に港の整備に協力がなければ指定は受けられない内容になっている。

対応する事業がある

市長 歩いてごみ出しができない方、例えば要介護3から5の方については別途対応する事業がある。

国体開催までに開通できないか

問 平成32年には国体が鹿児島県で開催され、志布志市でも競技があるのではないかと考えるが、地域高規格道路（都城志布志道路）はいつ全線開通されるのか。

県境区間は

かなりの期間が必要

市長 有明北から志布志インターチェンジ間は国体やバルク港整備に間に合うペースで整備が進むと思う。ただ、県境区間については今

いる。市外の方々については十分認知されていないと感じる。

問 ポイ捨て条例制定のまち志布志市の看板を設置し周知する考えはないか。

市長 内容を十分調査し、設置を検討する。

高齢者のごみ出し 困難者対策は

利用を

問 高齢化が進む中、ごみ出し方法を考える時期にきている。本市では一般ごみ、生ごみ、粗大ごみ、資源ごみに分かれているが、高齢者にとっては大変な作業で、今後、ごみ出し困難者も増えてくると考えるがどうか。

「ごみ分別お助け隊」

市長 ごみ出し困難者については、お助け隊を結成しているのを利用してもらう。また、粗大ごみは、近隣の方とグループでの排出に取り組んでもらい、引き続き分別収集に協力してもらいたい。

今基礎をつくらないと間に合わない

問 歩行の困難な方、認知症の方、いろいろ

見直しがされている

市長 全国で5つのバルク港が指定を受けた

国際バルク港の現況は

問 国際バルク港の指定を23年5月に受け2年経過したが、いまだに港湾整備が進んでいない。計画では10年後には供用開始と聞いていたが現況を示せ。



破損している枇榔島の栈橋



不法投棄の現場

東宏二議員 不法投棄について、監視カメラの効果などがどれくらいあるのか。また、ポイ捨て防止条例の浸透が図られていない。今後の対策を示せ。

市長 監視カメラの効果は少しずつは出てきていると感じている。ごみの不法投棄が目立つ場所に看板を設置し、看板の中に「条例制定のまち」が表記されて



小園 議員

本庁舎移転の議論は

▶ 協議を検討したい



志布志支所

小園義行議員 本庁舎移転の問題も、住民サービスとの低下を招かないという点から、対住民との関係で、業務量の多い所に移したらどうかと質問してきた。7年経過して、今のままで良いと現状を認識しているのか。

市長 市民の代表である議員より、さまざまな角度から検討の話がある。合併して8年、もうすぐ10年経過するので、庁内でも協議をしていい時期にきていると思う。検討したい。

市の増収分は

問 子ども手当等の導入で税の負担が増えている市民がいる。年少扶養控除廃止に伴う分や特定扶養控除の額の見直しに対して、市の増収分はどれくらいになるのか。

合せて約5100万円

税務課長 年少扶養控除の廃止に伴う増加分が、4500万円、特定扶養控除の額の見直しに伴う増加分が600

万円ほどで、合せて5100万円ほどが増収となる。

子ども医療費助成 拡げる考えは

問 合せて約5100万円増収になったということは、子どもという家庭の負担が増えたということである。これは、福祉の予算に使用して欲しいと考える。今、中学校卒業までとしている子ども医療費の全額助成を高校卒業まで、拡げる考えはな

勉強させて欲しい

市長 扶養控除等の廃止に伴う増収分については、一般財源化しているので少し勉強させて欲しい。

重要な部分と認識

教育長 市内の中学生の高校進学率は、三ヶ年平均で96%である。高等学校教育も義務教育化していると感じている。通院にかかる経費を気にすることなく

疾病の早期発見と治療を促進することにより、健康の保持増進を図ることは、子どもが勉強やスポーツに励むための環境づくりに重要な部分であると認識している。



志布志高校

他に
 ・憲法問題
 ・市長退職金
 ・生活保護基準見直しの影響
 ・地方交付税算定替の影響
 について質問した。

女性消防団の設置を図れ



鶴迫 議員

▼設置を検討する

「ふるさとまつりin有明」で周知

有明で周知

市長 現在の状況は、災害に対する備えの面から取り組みの仕方が随分と変わってきていると認識している。県内各地でも女性消防団の活動事例があり、女性の持つソフト面を生かした女性消防団ならではの活動が期待される。消防団幹部会の方々と協力し設置の方向で、前向きに検討していく。

市長 現在ホームページ開設中であり、本市小学3・4年生は社会科の副読本で学んでいる。また、「ふるさとまつりin有明」のイベント会場になっているので2町の市民はそれの際に、施設の存在の意図を感じているのではと思う。2町からシャトルバスも出ている。

有明町開田の里公園の幅広い利活用と広報を

ネーミングを「甚兵衛どんまつり」に変えては

問 開田の父野井倉甚兵衛氏や馬場藤吉氏の偉業をたたえるために開拓精神の碑・農業歴史資料館・伝習館・体験館がある。しかし、水の広場・有明町開田の里公園は、すばらしい所であるにもかかわらず、特に志布志・松山町の市民への周知が足りず知られていない。広報により幅広い利活用をすべきではないか。

問 「ふるさとまつりin有明」のネーミングが長いので「甚兵衛どんまつり」と変えて、曾於市の「弥五郎どんまつり」のように、市内外や更に全国にPRしていく考えはないか。

市長 ネーミングについては、実行委員会等で提案してもらい協議していく。

市長 ①福祉タクシーは、70歳以上の高齢者や身体障がい者等による運転困難者を対象に、旧町内で運行している。25年度は、旧町間の乗り入れを試行運転予定

乗り合いタクシーの旧3町間の乗り入れを

問 買い物困難者などの交通弱者対策について以前も質問したが、

①旧3町間乗り入れ可能なデマンド方式(電話予約など)利用者の必要に応じ柔軟な運行を行う交通形態)の乗り合いタクシーの検討をしたのか。その後の進捗状況は。
②本庁・志布志支所・松山支所の3庁舎間を結ぶ循環バスの運行は考えられないか。

秋頃の実施に向け 取り組む

高齢者の免許証自主返納への特典は

問 免許証を自主的に返納した高齢者の方へ特典をと、これまで2回にわたり質問した。その後の取り組み状況は。

タクシー利用券 1万円分1回限り交付

市長 交通事故防止を

鶴迫京子議員 消防団員は、定年制廃止導入にも関わらず、就業形態や意識の変化で減少傾向にあり、地域防災力の低下が懸念されている。東北大地震の教訓を生かし、命と財産を守るため女性パワーを発揮する体制を整えるべきである。先進地の松山市の女性消防団活動は、平常時、応急手当など普及啓発、防火広報、寝たきり高齢者宅の防災訪問、消防団のPR、研修や訓練参加など多彩である。また、消火活動はしないが、災害時には避難所運営・避難誘導・災害情報収集・広報などの活動をしている。災害はいつでもどこでも誰にでも、突然に起こる。松山市にならう、早急に女性消防団の設置に取り組むべきだと思うがどうか。



枕崎市に発足した女性消防団 (枕崎市より提供)



下平 議員

自主財源確保にメガソーラーの設置は

▶すぐさま調査させたい

下平晴行議員 市の平成25年度の予算は187億7000万円である。その内自主財源は約52億5000万円(28.2%)。内訳は税込30億1000万円、その他の収入使用料、手数料等、22億4000万円である。特に、人件費は税込をはるかにオーバーした34億4000万円である。そのことから自主財源確保は、早急に取組むべき課題である。24年7月から、太陽光発電やメガソーラーの電力を国が、買い取る「固定価格買い取り制度」が設けられた。公用地の遊休地等にメガソーラーを設置して自主財源確保



造成しないで設置されたメガソーラー

に取り組み考えはないか。

市長 再生可能エネルギーの固定買い取り制度には魅力を感じている。適地を積極的に選定したが、残念ながら適地がなかった。

鉄柱ドリルでメガソーラーを設置

問 都市では杉山を伐採し造成しないで、鉄柱ドリルでメガソーラーを設置している。適地がないのではなく、今はいろんな工法があるがどうか。

調査させたい

市長 すぐさま調査させたい。

企業誘致推進支援策は

問 薩摩川内市が経済の浮揚、雇用の増大を図るため、最大10億円を交付する「地域成長戦略促進補助金」を創設して公募を始めている。補助対象は食品ビジネス、次世代エネルギービジネス、医療・介護周辺ビジネス、観光ビジネスの成長戦略4分野である。このような企業誘致を積極的に進めているが、本市では企業誘致支援策をどのように考えているか。

薩摩川内市を参考に

市長 薩摩川内市を参考に企業誘致の呼び水になるように改めて見直しをしながら、今後志布志港の新若浜港後背地に開設する工業団地の企業誘致に取り組む。

堆肥場設置の

支援はできないか

問 有機農業の取り組み

みを拡大するために、畜産農家の糞尿処理と併せて完熟堆肥化を図る堆肥場設置の支援はできないか。

調査したい

市長 把握している耕種農家の希望者は少ないが、他に設置希望者があるのか、費用対効果や有機農業への取り組みの拡大につながるのか、本市の農業振興へ寄与するか調査したい。



堆肥場

地域情報通信基盤推進事業の活用は

問

地域情報通信基盤整備基本構想計画の中に、いつでも、何処でも、何でも、誰でも活用できる情報通信基盤

を整備し、福祉、農業、教育、産業、防災、行政などさまざまな分野において、活動を進め、住民の誰もが情報通信技術の利便さを実感できる地域づくりを目指すこととする」となっている。情報通信基盤が整備された今日、利活用の取り組みはできないか。また、本事業を推進する利活用プロジェクトの取り組みはどうか。

事業の推進について研究している

市長 さまざま事業の推進について研究している。現在の段階では実質的な展開が難しいところである。

具体策はでない

教育長 学校での利活用については、プロジェクトチームで協議されているが、具体策はでない。

他に
・次世代エネルギーパークについて質問した。

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市で、奇跡の一本松保存事業完成式が7月3日に開かれた。名勝高田松原の約7万本の松の中で、唯一残った復興の象徴で多くの被災者に希望を与えてきた雄姿が戻りました。

所管事務調査の途中タイムイングよく

10時からの式典に私たち議員6名も参列し、黙とうを捧げることができました。

この中で戸羽太市長が「街を復興させ、松原も白砂青松に再生させる、それを見守る存在として愛され続けてほしい」と挨拶がありました。

一本松は、津波で海水に浸かり、根腐れして枯死したため、幹を防腐処理し、枝葉をプリ力で再現されているそうです。

地震の時はまず海岸沿いの

議員控室
「住みやすい街に」
本田孝志

住民は、何はさておき逃げるのが鉄則である。この地震の様子をビデオで見て聞き、研修させていただきました。志布志市も海岸沿いに多くの市民が生活しております。この地震を教訓に志布志市の街をより住みやすい街にしていきたいと思えます。



どうぞ傍聴席へ 次回定例会は9月です

開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後8時から録画再放送もあります。是非ご覧下さい。

◎インターネットでもライブ中継を公開しています。

志布志市ホームページからご覧ください。

ライブ中継 ⇒ 志布志市トップページ ≫ 市政情報 ≫ 議会中継 ≫ 議会中継(ライブ中継)へ

編集後記

岩根 賢二



この議会だよりがみなさまのお手元に届くころには、夏の全国高校野球大会も真っ盛りのことと思います。どの球技でもそうですが、「一球」の大事さを痛感することがあります。あの時フォアボールを出していなければとか、エラーをしていなければとか、あるいは、あの時あつら・れば一話が出ていればと、よく「二球」の大事さはわかってはいますが、その大事さにはあとで気づくものです。どんな時も、その一球が、またその一挙手一投足がどんな意味を持つことになるのか、思いをいたしながら、日々を送りたいものです。

合併後30回目の議会だよりも全力投球で一字一句に気配りして編集してあります。ご一読ください。



広報等調査
特別委員会

委員長

◎坂元修一郎

副委員長

○平野 栄作

鶴迫 京子

本田 孝志

長岡 耕二

金子 光博

岩根 賢二

東 宏行

小園 義行

発行責任者

志布志市議会議長

上村

環